

## 「人を育てる意味」

スイッチON！運動会シーズンです。近所の小学校も運動会開催されているのですが、気づいたことが、音がない。むかしは、音楽ガンガンかけて盛り上がってる感じが面白かった街の風物詩。昼休みは3世代でわいわい手作りお弁当食べた記憶が、まるっきりする変わっている。良き文化は良い人を育むまちづくりと継承をしてもらいたいな。。。

さて、人材育成のテーマで講演の依頼をよくやらせてもらいます。当時、株式会社いきいきらいふを創業し、壮絶な7割の時代から新卒が9期生を迎えるようになり。施設長の半分以上は新卒からの入社組で運営されるようになりました。そんな体験や実績の中で、実体験をアウトプットさせて頂いています。

そこで、育成という不変のテーマが「人財育成」。  
では質問です。人を育成してどうなるのかを想像してください。  
たぶん漠然と、会社が大きくなるイメージはあると思います。  
なぜ育成し、彼らの成長を望むのか。  
社員の成長が会社の成長と言われますが、僕はこう考えます。  
人を育てることで自分の仕事の量を、相手に渡し減らすこと、それが成長の機会を提供し育成になる。

けど、裏ミッションは、権限委譲すること。  
育成し、自らの権限を委譲することで、自分のポケットに空きがでる。そこに未来が入ってくる。  
相手は、権限を委譲されることで、給与が上がる。  
未来を観る時間が少しずつ増えるから、売上が増す。

決して、あなたが楽ラクしたいからで、人を育てるということを目的にしないでください。  
一時期はその願望でいいですが、もう少し先を考えると、  
結果的にはポケットが空けば何を入れるかを考える能力が上に立つ人間にはあるのですから。

人生の豊かさを目指す上で、自分のポケットが満杯では、  
せっかくのチャンスや機会がポケットに入れられないイメージをもって、気持ちを昇華してまいりましょう。

